



トヨタ マークX

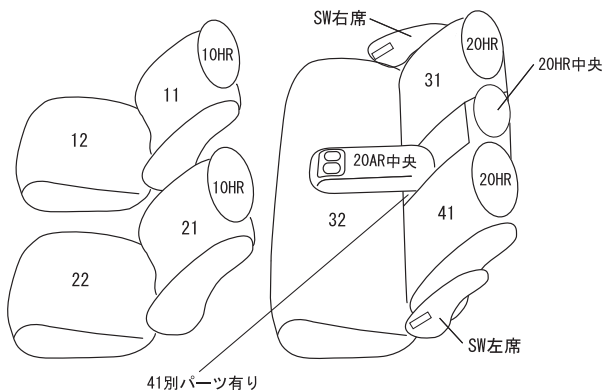
専用シートカバー取付説明書

この度は弊社製品をお買い上げ頂きまして、誠に有難うございます。

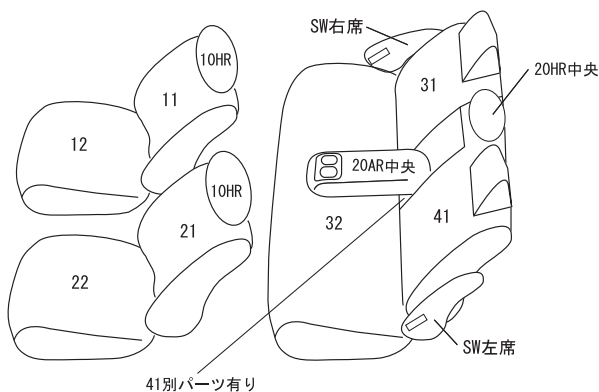
- * 説明書内にシートカバーの取付・取り扱い・返品等に関する注意事項等が記載されていますので、装着前に必ずお読み下さい。
- * 本書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため製品とデザインは異なります。

1405/1406/1407/1408

本製品シート形状とパーツの名称

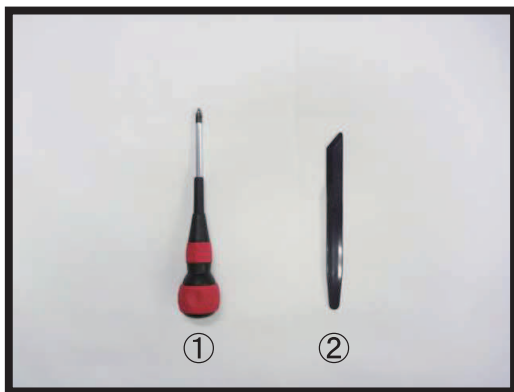


1405・1406
2列目ヘッドレスト
上下調整式シート



1407・1408
2列目ヘッドレスト
固定式シート

取付必要工具



工具名

- ①+ドライバー
- ②Clazzio専用ヘラ（付属）

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL 072-330-8000 / FAX 072-330-8816

この度は当社商品を御購入いただき誠に有り難うございます。

取付の際は本書をよくお読みの上、十分な注意を払って慎重に取り付けましょう。

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への密着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地の表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがかつく残る場合があります。装着されてから約1〜2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

■SRSサイドエアバッグ装備車にシートカバーを装着される場合、正しい適合に合ったシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。

※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2024年3月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）

その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようご注意ください。

⚠ 注意 ⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、シートカバーの装着が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があり、危険です。シートカバーの装着は説明通り、正確に行ってください。

ここからはサイドエアバッグ装備車にシートカバーを取り付ける際、注意する点を説明しています。



1 SRSサイドエアバッグ展開部分は、シートの表面と側面の境界線に位置し、図の縫い目に配置されます。



3 サイドエアバッグの展開部分と、シートカバーのSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用している縫い目の位置（以降SAB対応の縫い目部分）を合わせます。※シートのサイドエアバッグ展開部分にはシートカバーの縫い目が必ず存在します。その縫い目はSRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。



2 シートを上から見た状態です。通常、サイドエアバッグ展開部分はシート表面と側面の境界に位置し、一般的には角ばった形状をしています。サイドエアバッグ展開部分はその角の頂点に位置します。



4 シートカバーをシートに取り付ける際は、シートカバーを半分ほど裏返し、シートのサイドエアバッグ展開部分とカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてから、カバーを装着します。



- 5 4番の図を拡大したものです。シートのサイドエアバッグ展開部分と、シートカバーのSAB対応の縫い目部分を合わせてください。



- 6 シートカバーをシート全体に取り付ける際は、5番の位置がずれないように、カバーをシート全体にかぶせます。



- 7 説明書に従って、シートカバーを正しく取り付けます。サイドエアバッグ展開部分とSAB対応の縫い目部分が合っているか確認します。



- 8 まず、シートの表面の中央と端の境目になる縫い目を指で押し、シートのくぼみにカバーの縫い目がしっかりと合っているかを確認します。



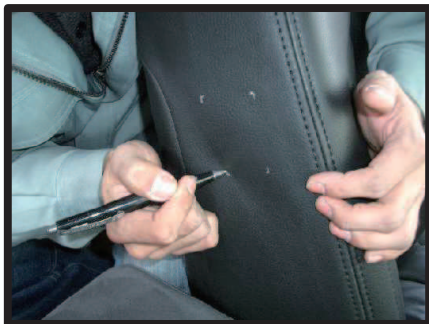
- 9 次に、シートカバーの表面側と側面側の生地を図のように引き伸ばし、カバーのSAB対応の縫い目部分が、サイドエアバッグの展開位置となる角ばった形状（2番参照）の角に位置することを確認します。この位置が合っていれば、シートカバーは正しい位置に装着されています。SAB対応の縫い目部分が側面側にずれていたりすると、サイドエアバッグの展開部分と位置がずれていることとなります。位置が合っていない場合はカバーの装着をやり直してください。



- 10 正しくシートカバーを取り付けることで、サイドエアバッグがシートカバーから正常に展開します。

助手席パワーシート車

※パワーシートのスイッチ部には加工が必要です



①カバーをきちんと取り付けました状態にします。パワーシートのスイッチ部を手で触りながら角部分から内側に7mmの位置に目印を付けます。



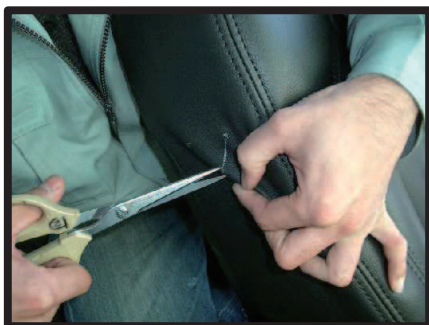
④最初に×印に切り込みを入れ、次に×印の端同士を結ぶように生地を切り落とし、四角形の穴にします。



②次に、目印を対角線で結ぶように×印を描きます。



⑤シート本体とスイッチのプラスチックとの隙間に、切り抜いたカバーを入れ込みます。



③シート本体やスイッチを傷つけないように、カバーをつまみながらハサミ等を使用して切り込みを入れます。



⑥助手席パワーシートのスイッチ部はこのようになります。

1 列目座面 ※パワーシート&運転席手動シート共通

1列目の取り付けには背もたれのバックボードを取り外す必要があります



- ①始めに背もたれから座面下に覆われている生地を取り外します。生地は座面下にゴムで固定されています。



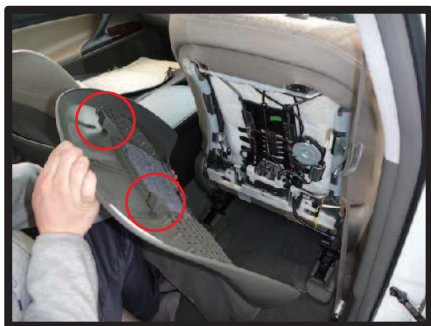
- ④カバーを図のように裏返した状態でシートのラインに合わせてみます。



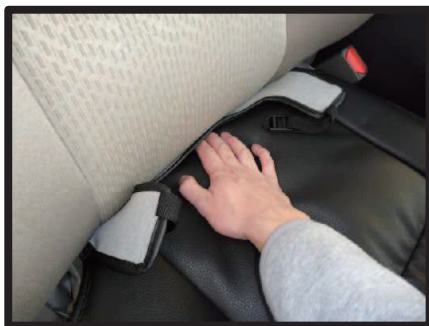
- ②生地をめくり上げると、図のようにバックボードを固定するネジがありますので、+ドライバーを使用しネジを外します。（左右2ヶ所）



- ⑤合わせたラインからずれないようにカバーをかぶせていきます。



- ③ネジを外し、バックボードを押しながら引き下げると、背もたれに固定されているツメ（図の赤丸部）が外れ、バックボードが取り外せます。



- ⑥背もたれと座面の隙間に生地を入れ込み、後ろ側へ引き出します。



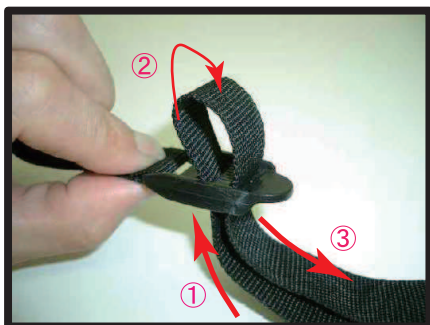
⑦カバー前側に付いているベルトを、
図のようにシートのプラスチック部
の中を通し、取り出します。



⑩カバーの内側側面にマジックテープ
が付いていますので、シートに直接
固定します。(運転席側のみ)



⑧取り出したベルトをシートの下側を
通し、後ろ側へ引き出します。
※シートの動作に干渉しないよう、図
のように金属パーツをかわすように
して下さい。



⑪⑥で入れ込んだ生地に付いているバ
ックルに、⑧で引き出したベルトを
固定します。①～③の順番にベルト
をバックルに通し、ベルトを引くと
カバーが固定されます。



⑨外側側面の生地をヘラ等を使用し、
シートとプラスチック部の隙間に入
れ込みます。



⑫カバーのラインを整え、1列目座面
の完成です。

助手席側がパワーシートの場合は、
同様に固定します。

1 列目座面 ※助手席手動シート用

1 列目背もたれ



⑬助手席手動シート用カバーは、図のように前側からかぶせていきます。



⑭助手席内側面の下側に、カバーがしっかりとかぶるようにします。



⑮カバーをかぶせ、運転席側と同様に固定すると、1列目助手席手動シート用座面の完成です。

⚠ 注意 ⚠

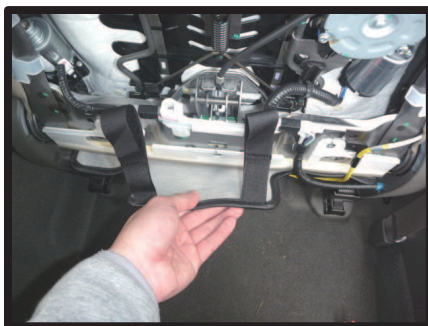
サイドエアバッグ装着車の装着方法は表紙から4枚目と5枚目の『警告：サイドエアバッグについて』と『注意』の装着説明を併せて確認し正確にシートカバーを取り付けてください。



①シートのラインに合わせてカバーをかぶせます。



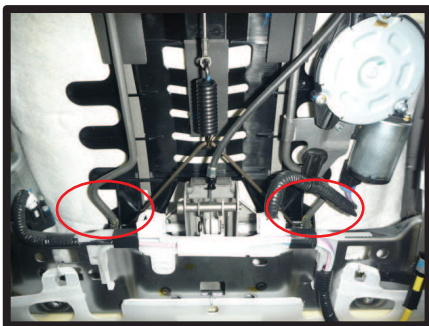
②背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。



③入れ込んだ生地を後ろ側から引き出します。



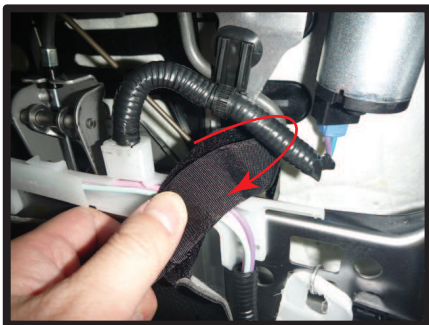
④ヘッドレストの台座部分をカバーの加工穴から取り出します。生地伸びを利用して横から潜り込ませるように取り出します。



⑦3ページ③で引き出した生地についているマジックテープのベルトを、図の○位置に固定します。
※図は運転席パワーシート車です



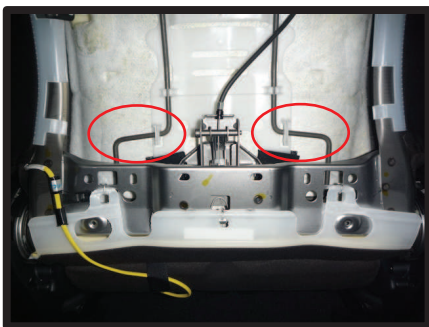
⑤台座を取り出すと、このようになります。加工穴から綿がはみ出る場合は台座のフチに巻き付けるように仕舞い込みます。



⑧マジックテープのベルトは、図のように金属部に巻き付け固定します。

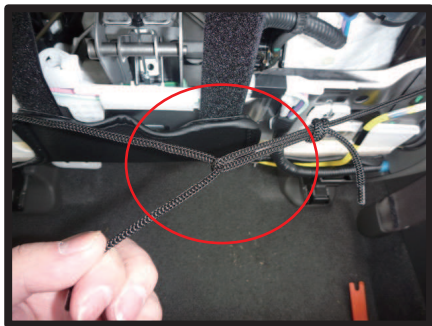


⑥図の①～③の順番で生地をシートに馴染ませ、カバーのシワを無くしていきます。



⑨運転席手動シート車と助手席側での⑦の工程は、マジックテープのベルトを図の○位置に固定します。

1 列目背もたれ続き



- ⑩カバー左右に付いているヒモを後ろ側へ引き出します。引き出したヒモの一方で輪を作り、もう一方を輪に通し、引き絞って結び留めます。

⚠注意⚠

サイドエアバッグが装備されているシートでは、⑦⑧⑨⑩の固定が正確にできていないと、サイドエアバッグが開かない可能性があります。危険です。



- ⑪1ページ①～③で取り外した逆の手順で、バックボードを元に戻します。



- ⑫サイドエアバッグの展開部分とシートカバーのSAB対応の縫い目部分が合っていることを確認して下さい。カバーのラインを整え、1列目背もたれの完成です。助手席側も同様に取り付けます。

2 列目座面

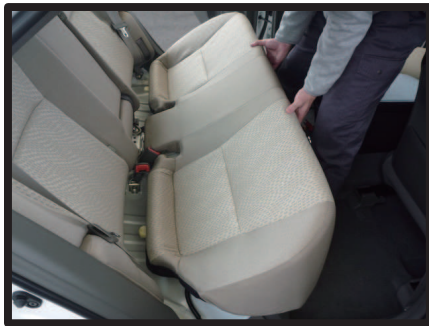
取り付けには座面を取り外す必要があります



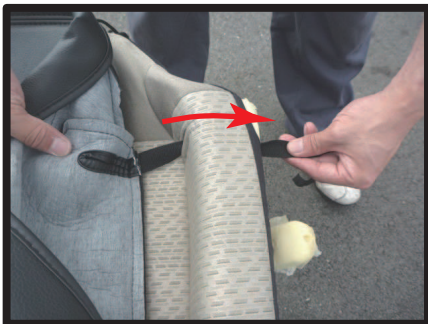
- ①始めに車体からシートを取り外します。シートは図の矢印の位置に金具で固定されていますので、金具を真上に引き抜くようにして外します。



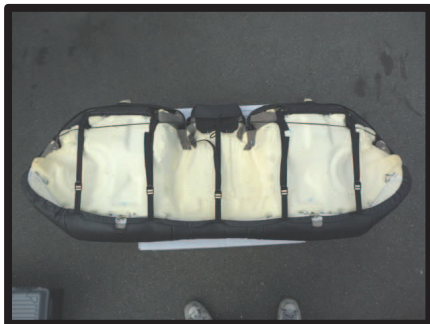
- ②金具は運転席側と助手席側の2ヶ所で固定されています。①と同様に金具を引き抜きます。



- ③金具を外すとシートが取り外せます。周囲に広いスペースがある場合は、シートを車外に移動させると作業しやすくなります。移動の際に、車体を傷つけないよう注意して下さい。



④カバーをシートにかぶせる前に、シートのチャイルドシート固定用フック位置にある穴に、カバーの同じ位置に付いているベルトを通します。
(4ヶ所)



⑦シートを裏返し、ベルトとヒモでカバーを固定します。



⑤シートラインに合わせてカバーをかぶせていきます。
図のツメ部は、カバーの加工穴から取り出します。



⑧シートと車体を固定する金具は、図のようにカバーとヒモを避けておきます。



⑥シート中央の図の部分には、カバーを引っ掛けるようにかぶせます。



⑨カバーのラインを整え、2列目座面の完成です。

※シートは背もたれカバー装着後に、元に戻します。

2列目背もたれ ※写真はヘッドレスト上下調整式シートですが、固定式シートも同様に取付けます。



① 2列目背もたれの助手席側には、中央席用のシートベルトがあります。シートベルトを台座から外し、台座を＋ドライバーを使用し、取り外します。



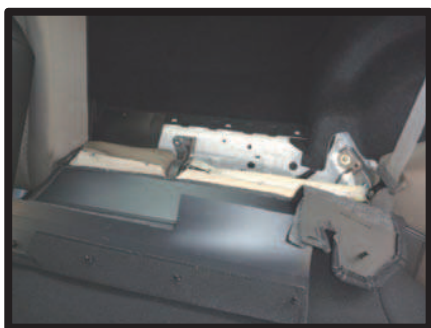
④ カバーをかぶせる前に、カバー内側側面のファスナーを開いておきます。シートの窓側側面からカバーをかぶせ、ラインを合わせます。



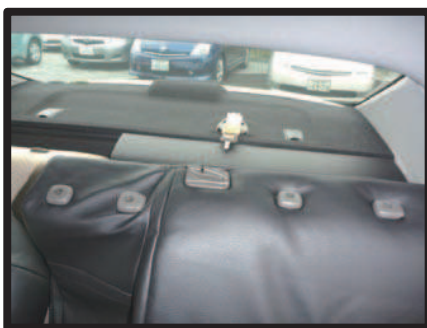
② 背もたれを引き倒し、背もたれ背面側に付いている生地を取り外します。生地は図のようにクリップで留まっていますので、真上に引き抜きます。



⑤ ラインを正しく合わせると、図のようにシートの内側側面にカバーをかぶせる事が出来ます。



③ 全ての生地を取り外すと、このようになります。



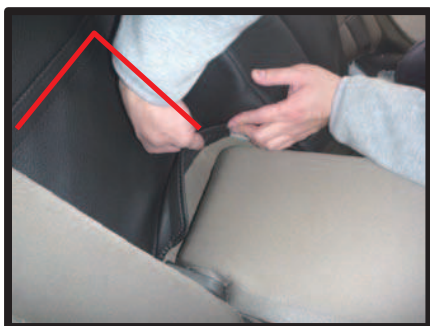
⑥ ヘッドレストの台座を取り出し、①で外したシートベルトの台座を元に戻します。※ヘッドレスト固定式シートの場合は、カバーをヘッドレストのラインに合わせ整えます。



⑦背もたれ背面は、カバーに付いているマジックテープで直接固定します。



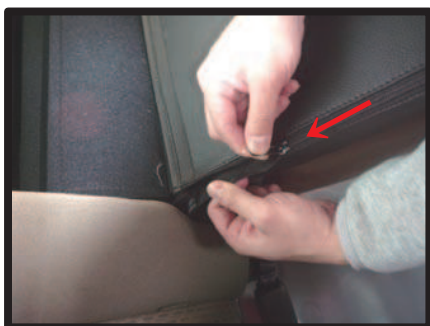
⑩カバー前側の生地を背もたれの隙間に入れ込みます。



⑧カバーをアームレスト収納部のラインに合わせます。カバー内側の図の赤線位置に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けます。※一部グレードには、マジックテープが貼り付かないシートがありますが、マジックテープの固定は、あくまで補助的なものですので、固定せずにカバーを装着して下さい。



⑪入れ込んだ生地を背もたれ背面から取り出します。

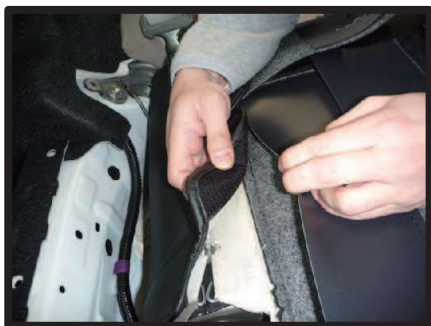


⑨カバー内側側面のファスナーを閉じます。



⑫取り出した生地に付いているマジックテープを、7ページ②で取り外した生地裏側に直接固定します。

2列目背もたれ続き



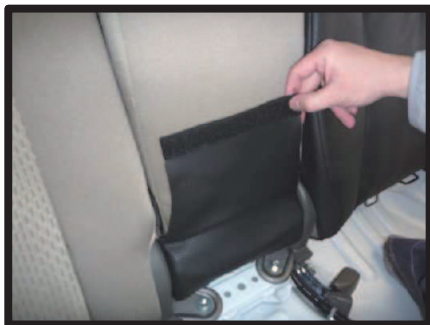
⑬図のように、7ページ②で取り外した生地の裏側に板状のプラスチックが付いている部分は、プラスチックをめくり、下にある生地にマジックテープで直接固定します。



⑭カバーを正しく取り付けると、このようになります。



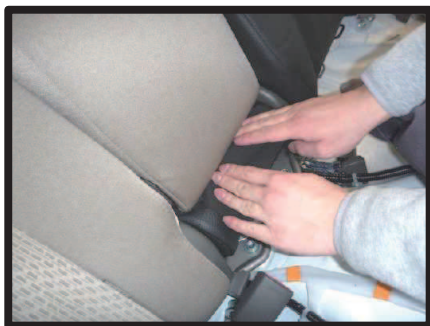
⑯背もたれ後ろ側からカバーをかぶせます。



⑰背もたれ前側から生地を引き出します。



⑮表紙のシート形状図にある「41別パーツ」は、図のパーツ用になります。(タグは41)



⑯引き出した生地をアームレストの隙間に入れ込みます。

2列目サイドパーツ

タグにSWと表記のあるカバーを使用します



⑱ 入れ込んだ生地を図のように引き出します。



① 2列目背もたれ下部のリクライニングレバーにあるプラスチックのフタを先の細いものを使用し、取り外します。



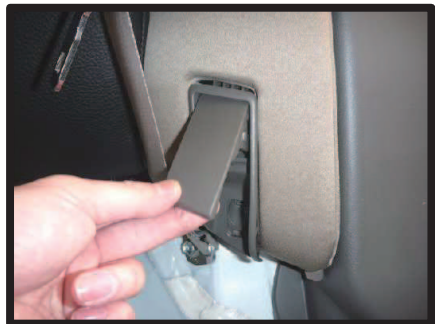
⑳ 引き出した生地を背もたれカバーとマジックテープで固定します。



㉑ プラスチックのフタを外すと中にネジがありますので、+ドライバーを使用し、外します。

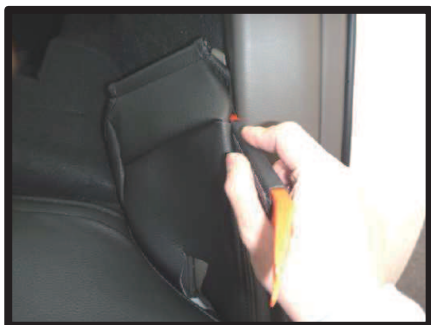


㉒ カバーのラインを整え、2列目背もたれの完成です。
運転席側も一部形状が異なりますが、同様に取付けます。

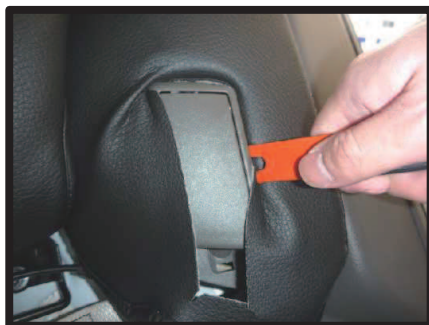


㉓ ネジを外すと図のように、リクライニングレバー部が少し浮いた状態になりますので、この状態で作業を進めます。

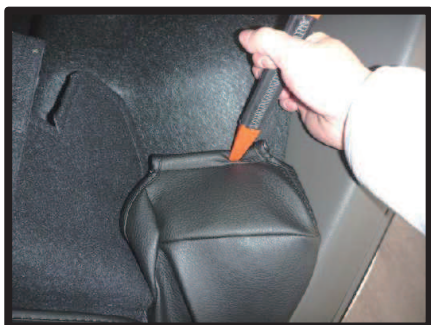
2列目サイドパーツ続き



④サイドパーツにカバーをかぶせます。
図のように車体の隙間に側面の生地
を入れ込みます。



⑦10ページ③で浮いた状態のリク
ライニングレバー部に、生地を入れ込
みます。



⑤ラインを整えながら、上側の生地も
隙間に入れ込みます。



⑧入れ込んだ生地を挟み込むように、
リクライニングレバー部を元に戻し
2列目サイドパーツの完成です。
運転席側も同様に取り付けます。



⑥サイドパーツのラインにWステッチ
のラインが合わさるように、カバー
を整えます。

ヘッドレスト



- ① 1列目ヘッドレストのカバーを半分ほど裏返した状態で、ラインを合わせかぶせます。平らなプラスチックパーツが付いている方が前側になります。



- ④ プラフックの固定方法は、カギ状のフック部に、平らなプラスチック部を、生地ごと巻き込み固定します。



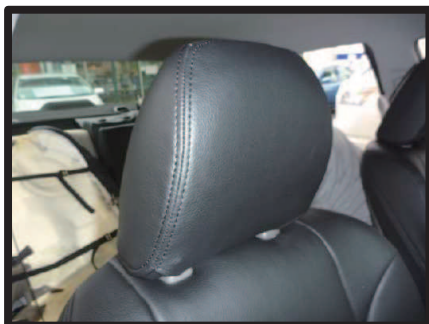
- ③ ラインがずれないように、カバーをかぶせていきます。



- ⑤ プラフックを正しく固定すると、このようになります。



- ③ ヘッドレストをシートから取り外し、ヘッドレスト裏のプラフックを使用し固定します。

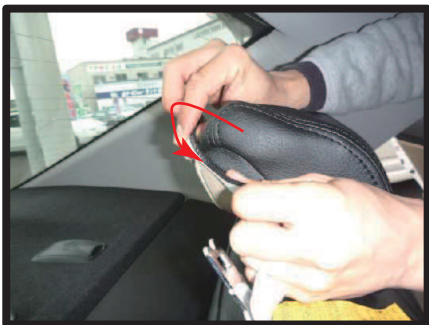


- ⑥ ヘッドレストをシートに戻し、カバーのラインを整え、1列目ヘッドレストの完成です。

ヘッドレスト続き



⑦ 2列目ヘッドレストのカバーは、ヘッドレストの前側に引っ掛けるようにかぶせます。



⑧ ヘッドレスト後ろ側にカバーをかぶせる際は、無理にカバーを引っ張らずに、ヘッドレスト本体を押しつぶすようにしながらかぶせます。



⑨ カバーのラインを整え、1列目と同様にブラフックで固定すると、2列目ヘッドレストの完成です。2列目中央席ヘッドレストも同様に

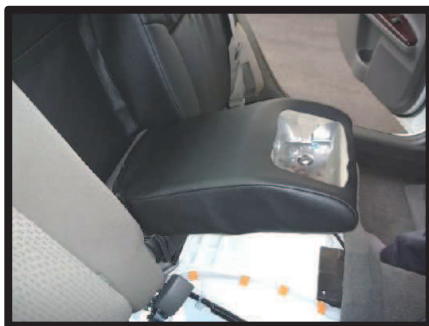
アームレスト



① アームレストのカップホルダー部分の中敷きを外すとネジがありますのでドライバーを使用し外します。ネジを外すとカップホルダーが外せます。

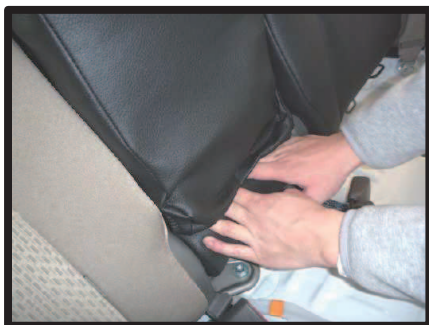


② カバーを半分ほど裏返した状態で、アームレストにかぶせます。先端までしっかりとかぶせて下さい。

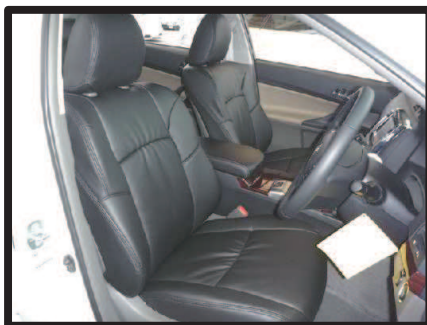


③ ラインを合わせながら、カバーをかぶせていきます。

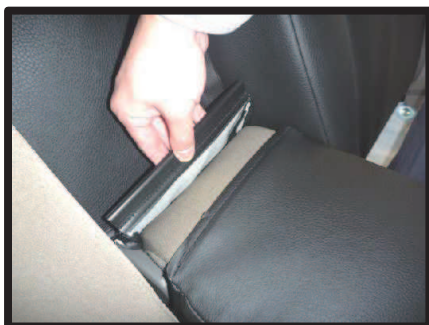
完成図



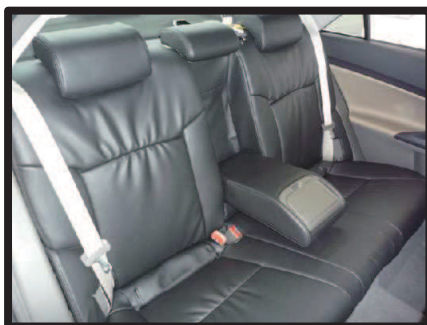
④アームレストと背もたれの間隙に生地を入れ込みます。



1 列目



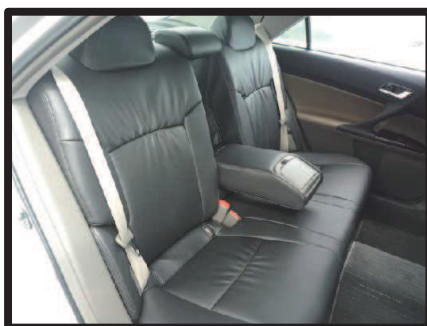
⑤入れ込んだ生地を図のように引き出し、プラフックで固定します。



2 列目ヘッドレスト上下調整式シート



⑥13ページ①で外したカップホルダーを元に戻し、カバーのラインを整え、アームレストの完成です。



2 列目ヘッドレスト固定式シート

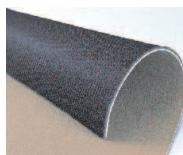


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

ウルトラスエード

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

●全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯に染みこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

この作業は月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてからご使用ください（クリーナーの説明書に従ってください）。また、使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。万が一変色したり風合いが変わってしまったりした場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合はすぐに拭き取り、お手入れを行って下さい。長時間放置しておくとも汚れやシミが取れなくなります。表面に積もったほこりは汚れの原因になる為、掃除機でこまめに吸い取って下さい。



PVCレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いた布で乾拭きして下さい。



ファブリック

●ほこりや毛羽などの付着汚れ

ブラシ等で軽くブラッシングして取り除いてください。

●シミ汚れ

ぬるま湯を入れた容器の中に中性洗剤を数滴入れ、その中に布を浸したら固く絞って汚れ部分をたたくように掃除します。洗剤を入れすぎると泡立ちすぎるので、適度な量にしてください。掃除をした後は、洗剤が残らないようにしっかりと水拭きします。また、水分が残ったまま放置すると汚れやカビの原因となりますのでしっかりと乾燥させてください。

※テニム生地の場合は、拭きすぎると色落ちの原因となります。一度色が落ちると元には戻りません。また、メンテナンス時に発生したダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。

